

Beyond Limits. Unlock Our Potential.
世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成計画

コンソ シアム等の名称：京都スタートアップ・エコシステム推進協議会

エコシステム形成推進主体について

1. エコシステム形成の目標・KPI (2/2)

○5年後の目標

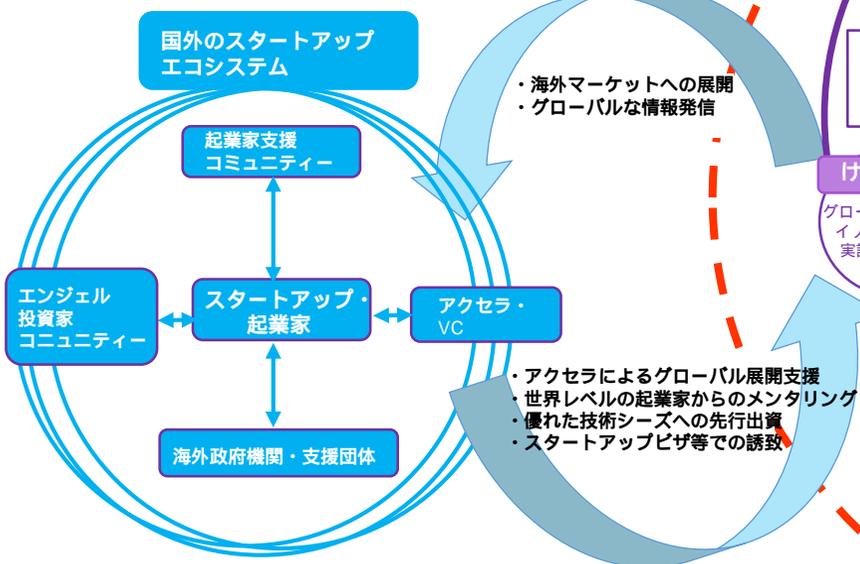
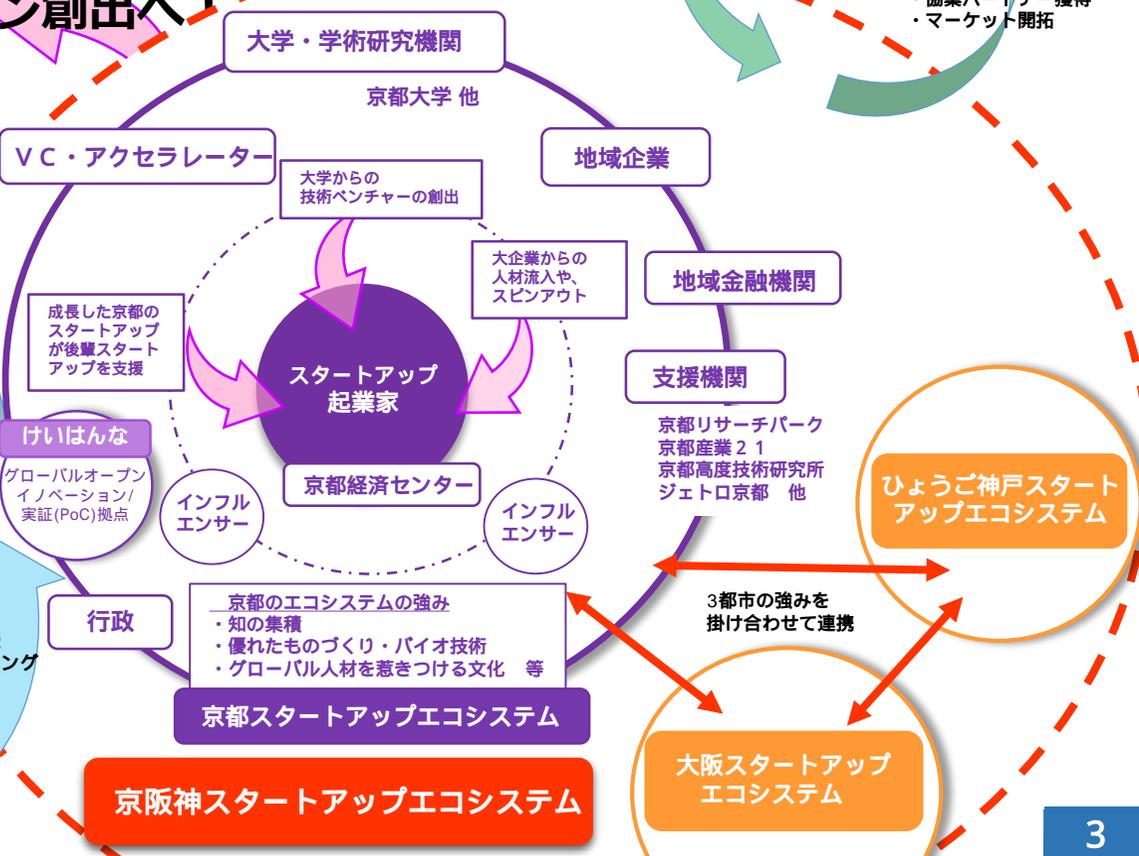
<京都スタートアップ・エコシステムの構築>

- ・世界から京都で起業したいというグローバルな人材が集まる環境を創造
- ・京都の強みであるものづくり分野 バイオやロボット、AIなど最先端技術（ディープテック）分野 Maasなどのソーシャルイノベーション分野のスタートアップを輩出
- ・グローバルネットワークを構築し、世界のマーケットへの展開を支援



○5年後のKPI

項目	目標	現状	目的
①スタートアップ設立数	166社	83 (過去5年)	エコシステム活性化
②大学発ベンチャー設立数	96社	39 (過去4年)	ディープテックシーズ実装化
③スタートアップVISA認定件数	15社		グローバル化促進
④ユニコーン創出数	1社		社会課題解決のドライビングフォース



ひょうご神戸スタートアップエコシステム

大阪スタートアップエコシステム

京阪神スタートアップエコシステム

エコシステム形成推進主体について

2. エコシステム形成主体の構成組織と役割分担

京都スタートアップ・エコシステム推進協議会

京都経済センター

経済団体

既存中小企業、
大企業等との交流支援



事務局

スタートアップを
総合的に支援



産業支援機関

スタートアップのための技術的
支援、経営的支援等を実施



金融機関

資金支援、パートナ
企業紹介等



大学・研究機関

シーズの提供、技術
支援、人材育成等



VC・アクセラレーター

スタートアップ企業と大手企業
等との協業の機会の創出



連携



連携



連携



連携

推進拠点
企業連携

インキュベーション

京大桂ヶ原ファブラボ、ウエ
イション 京都市御車
(中小機構)

京都リサーチパーク

起業促進
オープンイノベーション促進
グローバル支援
ノウハウ供給

けいはんな学研都市

社会実証支援
イノベーション創出やスタートア
ップ企業へのノウハウ支援
KGAPの取組継続

地域の大企業・中堅企業

スタートアップとの協業
地域企業の支援・活性化

3. エコシステムの顔となるリーダー

エコシステムのリーダーである**牧野氏、鈴木氏をはじめとした豊富な人材を生かした強み(アクセラレーションプログラムのノウハウ、グローバルネットワーク)**を、京都スタートアップ・エコシステム推進協議会構成団体が活用し、事業を実施

京都スタートアップ・エコシステム推進協議会

エコシステムのリーダー

アクセラレーション

グローバル



Monozukuri Ventures
代表取締役 **牧野 成将**



国際電気通信基礎技術研究所
代表取締役専務 **鈴木 博之**

- ・VCで日米スタートアップへの投資、更には京都・大阪でのアクセラレーション等の立ち上げを行う。
- ・2017年7月には「MBC Shisakuファンド」を設立して日米20社以上のスタートアップに投資を行う。
- ・2019年2月関西財界セミナー「特別賞」受賞。2005年神戸大学大学院修了。

- ・東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。有機物質、酸化物結晶等を用いた基礎・応用・実用化研究等に従事。
- ・MOUの締結(スペイン、イスラエル、アメリカ、カナダ)等による海外ネットワーク構築
- ・アクセラレーションプログラム(KGAP+)の立ち上げ

< 連携事例 >

- ・アクセラレーションプログラム、ピッチ会、ビジネスプランコンテスト等に大企業・国内外のスタートアップ投資家が新たに参画
- ・スタートアップフォーラムなど、世界から投資家や起業家を京都に呼び込む仕掛けづくり 等

京都スタートアップ・エコシステム推進協議会

経済団体
中小企業、大企業等への支援

産業支援機関
技術的支援、経営的支援等

大学・研究機関
シーズの提供、技術支援、人材育成等

金融機関
資金支援、パートナー企業紹介

VC・アクセラレーター
スタートアップ企業と大手企業等の協業支援

事務局
スタートアップを総合的に支援



インフルエンサー

(エコシステムのリーダーをサポート)

京都大学教授

山口栄一

専門はイノベーション理論
理学博士(東京大学)。多数の
行カベンチャー企業を創業支援

京都工芸繊維大学准教授

KYOTO Design Lab
Sushi Suzuki

スタンフォード大学機械工学修士号
取得。スタンフォード大学のデザイン
ハレーションプロジェクトリーダーとして
も活躍

taliki

代表取締役 **中村多伽**

京都大学在学中に株式会社talikiを設
立。運営する社会起業家育成プ
グラムには延べ100名以上参加

AIR

代表取締役 **隅田剣生**

NEDO、文部科学省、東京大学
等で産学官連携コーディネーター等歴
任。多数の大学発ベンチャー・産学
連携プロジェクトを組成

1. 首長の方針

京都府 西脇知事

・京都には、長い歴史により育まれた伝統産業から、大学・企業で生み出された技術を取り入れた先端産業まで多様な産業構造があり、明治初期から何世代にもわたって、数多くの独創的な技術を持つベンチャー企業が生まれ、「ベンチャーの都」と称されました。しかしながら、近年、世界の都市を起点にスタートアップ企業が次々と生まれ、それぞれの国や地域の成長を牽引している中、京都の開業率は全国平均を下回る状況となっているところです。

・このような状況の中で、今回、新たに協議会を設立し、さらに、内閣府で進められている「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」における「拠点都市」に選定されれば、世界中からスタートアップに必要な人材、投資、技術が集まり、スタートアップ企業が成長しやすい環境づくりにつながるものと大きな期待をよせているところです。

・京都府では、10月に策定した「京都府総合計画」において、「起業するなら京都・プロジェクト」を掲げ、スタートアップ企業が単独では実現困難なビジネスアイデアを実現するアクセラレーションプログラムの取組を推進し、世界中から有能な人材や企業が集う仕組みづくりに取り組んでいるところです。

・京都が1つになり、さらに京阪神間の連携を進めそれぞれの強みを生かした相乗効果を生み出していくことが重要となりますので、しっかりと連携しながら「スタートアップの都 京都」の実現を図ってまいります。
(R1.12「京都スタートアップ・エコシステム推進協議会」あいさつ)



京都市 門川市長

・京都は、1200年を超える歴史の中で、伝統と革新により、異なる文化と調和・融合しつつ発展してきた世界に例のないイノベーションのまちである。

・明治初期に創業した島津製作所やオムロン、さらに京セラ、NISSHA、堀場製作所、サムコ、日本電産など、時代を先取りしたベンチャー企業が次々と生まれる中、本市は、平成9年度にこうした企業の創業者とともに「ベンチャー企業目利き委員会」を設置し、行政施策として将来性のあるベンチャーを発掘・支援してきた。その中から、勢いのあるスタートアップやファームワーズなどの上場企業を輩出している。(R1.9 予備調査表)

・サイエンス・テクノロジーとアート・文化の融合がイノベーションの創出につながり、それによる産業・経済・社会の持続的発展こそ、京都の目指す方向だと考えている。現在、進めている市立芸大の移転も、文化・芸術と科学技術の融合から生まれるイノベーションの拠点を目指しており、学内に、スタートアップ・エコシステム形成のためのスペースを確保していく。同時に、産業用地の創出にも全力を挙げて取り組んでいく。
・スタートアップエコシステム推進協議会をもとに、京都が先頭に立って、国内外から起業家やスタートアップ企業を呼び込み、歴史や伝統・文化と溶け込み合うことで、世界中の人々を魅了し、光り輝きながら成長し続ける「スタートアップの都」となるよう、全力で取り組んでいく。
(R1.12「京都スタートアップ・エコシステム推進協議会」あいさつ)

・起業するなら京都！京都版「スタートアップエコシステム」を構築し、世界有数のスタートアップ拠点都市を目指します。

・新たな産業・学術研究・開発拠点用地やオフィススペースの確保・創出など、企業立地を進めます。

(R2.1「かどかわ大作「市民のみなさまとの141のお約束」(マニフェスト)」)



地方自治体の取組

オープンイノベーションの推進

<主な支援施設> 詳細は「都市の環境・繋がり状況」
京都経済センター～KRP～けいはんなKICK 京都の産業育成ベルトは「シリコンバレー」に匹敵

<主なインキュベーション施設> 詳細は「都市の環境・繋がり状況」
西陣産業創造會館、宇治ベンチャー企業育成工場、D-egg、けいはんなベンチャーセンター等



2. スタートアップ支援 (1/2) (1) 総予算額

【京都府】	平成30年度	令和元年度	令和2年度(予算案)
	約6億円	約6億円	約8.6億円

(2) 主な支援事業

事業名	予算額	事業内容
起業するなら京都・プロジェクト推進事業費<R2新規>	310,000千円	<p>1.ものづくり成長分野(ロボット・次世代電池等)スタートアップ支援 スタートアップ企業に必要な設備整備をスタートアップ設備貸与事業により支援 「京都ベンチャーキャピタルネットワーク」の構築及びスタートアップフォーラムの開催</p> <p><拠点・プラットフォーム> 京都経済センター、けいはんなロボットセンター(次世代ロボット等の開発・実証のため、スタートアップ等が共同利用)</p> <p><連携事業> 京都エコミック・デザイン支援事業(事業計画段階から本格展開に向けた製品等の試作・研究開発、実用化に向けた市場開拓、生産設備投資まで、あらゆる段階のチャレンジを支援) 中小企業型ものづくり支援事業(IoT技術を駆使して、情報や工作機械の共有化を図り、中小企業間の連携一体化を促進)等</p> <p>2.IoT等成長分野(5G、VR・AR等)スタートアップ支援 今後の需要拡大が見込まれるVR・AR技術、iPS細胞関連の産業化に向けた支援</p> <p><拠点・プラットフォーム> 太秦の「京都VR・AR拠点」(研究会等の開催により、多くのVR・ARクリエイターの創出やものづくりゲーム・映画産業等との連携により高付加価値化を推進) けいはんなロボットセンター(ドコモ等と連携しながら、5G時代を見据えた次世代ロボット等の開発・実証を可能とする環境を整備)</p> <p><連携事業> 京都知恵アイパーク整備事業(映像を核とした知恵アイ産業の育成、産学公で設置した「京都知恵アイパーク推進会議」のもと、拠点の整備、人材育成、国際ネットワークを形成) 5G対応型産学公連携研究開発推進事業(5Gの本格普及・拡大を見据え、AI・IoT技術を活用した次世代ロボットやモビリティ関連技術の社会実装を推進)等</p> <p>3.社会課題解決スタートアップ支援 京都ビッグデータ活用プラットフォームによるアイデア提案に基づき、新サービス等を開発する事業者を支援 (事業化支援、新サービス等の認証制度創設、府庁優先調達)</p> <p><拠点・プラットフォーム> 京都ビッグデータ活用プラットフォーム(約100の企業・団体が構成されるプラットフォーム、スマートレジャーWGやスマート観光WG等の7つのWGと通じて新たなサービスやアイディア創出。道路表示のバッキング対策となるサイバーセキュリティ分野などの新たな取り組みを展開) 堀川アート&クラフトセンター(仮称)(クオリティの高い多様なイベント展開により、アート&クラフトの創造・発信を強化)</p> <p><連携事業> 中小企業知恵の経営ステップアップ事業(中小企業応援隊の伴走支援により、販売促進、設備更新、コスト削減等のあらゆる経営改善の取組を支援)等</p> <p>4.起業環境整備・伴走支援 外国人起業家等が起業準備活動に必要な在留資格(スタートアップビザ)の取得支援</p> <p>5.起業家教育 小・中・高校生を対象とした起業家教育プログラムの実施</p>
継続事業	542,250千円	次世代人材育成・産業創造事業、「企業の森・産学の森」事業、チャレンジバイ促進事業

今後は、「アート・イノベーション」にも注力(京都デザインスクールとの連携予定)

地方自治体の取組

2. スタートアップ支援 (2/2) (1) 総予算額

【京都市】

平成30年度	令和元年度	令和2年度（予算案）
約6.2億円	約6.3億円	約7.1億円

(2) 主な支援事業

主たる事業名	予算額	事業内容
創業・新事業創出支援（ベンチャー企業目利き委員会Aランク認定等）	277,857千円	優れたベンチャー・スタートアップの発掘から育成まで一貫した支援を行うほか、中小企業の経営革新を支援するオスカー認定制度など、中小企業の新事業創出、成長を支援する。
インキュベート施設等の拠点を活用した創業・新事業創出支援	218,894千円	ものづくりベンチャー戦略拠点（Kyoto Makers Garage）や、京都市成長産業創造センター等、ハードウェア及びバイオ・ライフサイエンススタートアップの支援拠点の運営に加え、中小機構のインキュベート施設等における新事業創出の他、学校跡地を活用した創業・イノベーション拠点整備を進めている。
ライフイノベーション創出支援事業	81,300千円	京都大学構内に設置した京都市ライフイノベーション創出支援センターにおいて、京都大学等と連携し、有望な研究成果の発掘や経営人材育成等、スタートアップ創出に向け、一貫した支援に取り組む。
京都経済センターオープンイノベーションの推進	62,931千円	京都経済センターのオープンイノベーションカフェを拠点に、若手起業家や創業を目指す学生、経営者、産業支援機関等の交流と協働を促進し、オール京都での新たなビジネス創出を支援する。
京都スタートアップ・エコシステム推進プロジェクト（令和2年度新規事業）	34,500千円	「スタートアップの都・京都」を目指すため、京都府、地域企業、大学、経済界、金融機関、産業支援機関、さらには、近年、開設が相次ぐインキュベーター・アクセラレーターとも連携し、京都スタートアップ・エコシステムの形成を推進するとともに、外国人の起業活動促進や中高生をはじめとした若者の起業マインドの醸成を図る。
次世代産業×大学発ベンチャー社会課題解決のための技術開発プロジェクト（令和2年度新規事業）	10,000千円	京都市の行政課題の解決につながる研究を行う研究者に対し、研究開発への助成、実証実験のフィールドの提供、技術開発へのフィードバック等の支援を行い、製品・サービス等の開発につなげる。さらにこうした研究開発の成果を金融機関、ベンチャーキャピタル等の投資家に対して発表する場を提供し、大学発ベンチャーの起業を後押しし、次世代産業の振興を図る。

地方自治体の取組

3. スタートアップ支援組織 (1)担当者数: 59名 (2) 支援の顔となる職員: 9名

(1) 京都府

担当部局名	担当者数	備考, 内訳等
商工労働観光部	3名	部長、副部長2名
産業労働総務課	4名	課長、参事、企画担当2名
中小企業総合支援課	8名	課長、中小企業応援センター7名
ものづくり振興課	7名	課長、担当課長2名、創業・地域産業戦略2名、特区・イノベーション推進担当2名
経済交流課	4名	理事、京都海外ビジネスセンター3名

氏名	所属, 肩書	関連業務経験年数
山下 晃正	副知事	45年
湯川 卓宏	(一社) 京都知恵産業創造の森 企画総務部 産業人材育成担当次長	12年
中岡 弘文	商工労働観光部 産業労働総務課 企画・地域戦略担当 副主査	4年
恩地 亨	(一社) 京都知恵産業創造の森 産学公連携推進部 主幹	3年
西脇 啓一郎	商工労働観光部 ものづくり振興課 主任	5年

(2) 京都市

担当部局名	担当者数	備考, 内訳等
産業観光局産業企画室	8名	京都知恵産業創造の森への派遣含む
産業観光局新産業振興室	21名	京都高度技術研究所への派遣含む
産業観光局地域企業振興課	4名	

氏名	所属, 肩書	関連業務経験年数
竹内 清	産業観光局 新産業振興室 産業イノベーション課長	13年
齋藤 卓也	産業観光局 新産業振興室 調査係長	4年
川口 高司	産業観光局 新産業振興室 事業推進担当	5年
金山 裕喜	産業観光局 新産業振興室 担当係長	7年

4 . 民間組織との連携

【京都府】

連携組織名	事業内容
京都知恵産業創造の森 (2018年11月設立)	オール京都の産業支援機関が集積した京都経済センター内の、京都知恵産業創造の森(2018年11月設立)が運営するオープンイノベーションカフェにおいて、起業希望者等に対し、幅広く志を同じくする仲間や先輩経営者、VC、金融機関、支援機関等との人脈づくりができる無料で気軽に交流できる場を提供し、アイデアソンやピッチ会等を連日開催し、様々な人々の垣根を超えた交流を促進。2019年3月オープンから2020年1月末までで利用者総数は2万3千人を超えた。
(株)島津製作所との連携協定 (2019年3月)	科学技術の力で世界的に活躍する企業及び人材を絶え間なく生みだし、京都を世界の未来を創造するイノベーション都市とするため、(株)島津製作所と「イノベーション都市の創造に向けた連携・協力に関する協定書」を締結。京都府アクセラレーションプログラムへの参画のほか、府立中学生を対象とした理科学習「島津サイエンスキャンプ」を実施。
(株)SCREENホールディングスとの連携協定 (2020年1月)	活力あふれ府民が誇りの持てる新しい時代の地域社会創造に向けて連携・協力を図るため、(株)SCREENホールディングスと「未来ある地域社会の創造に向けた包括的連携に関する協定書」を締結。京都府ものづくりアクセラレーションプログラムへの参画のほか、学生向け起業家教育での連携を予定。

【京都市】

連携組織名	事業内容
(株)Monozukuri Ventures (旧: (株)Darma Tech Labs) (Kyoto Makers Garage)	成長したスタートアップのKRP地区への誘致のほか、Monozukuri Venturesと連携し、Kyoto Makers Garageにおいて、ものづくり分野における「死の谷」(量産化の壁)を越えるための支援を行っている。
Plug and Play Japan	世界のスタートアップと京都を拠点として経済交流・イノベーション創出を推進するため、世界14カ国30拠点のネットワークを有するPlug and Play Japanと「スタートアップ・エコシステム形成に係る連携協定」を昨年7月に締結。 今年3月には、京都の強みである「Hardware x Health」分野のプログラムのデモデイを開催(於: K R P)
フェニクシー「toberu」	国内初のレジデンス付きインキュベート施設「toberu」を拠点として、大企業に囲い込まれている人材やシーズを生かしたイノベーションの創出や、優れたビジネスモデルを有する起業家の支援をしている。「イノベーション創出に関する連携協定」を昨年10月に締結。

5. グローバル化への対応（スタートアップVISA制度など）

取組名等	事業内容
スタートアップビザ制度 ＜府市協調＞	外国人起業家のスタートアップ受入環境の整備を図るため、海外展開をワンストップで支援する京都海外ビジネスセンター（京都経済センター内）に相談窓口を設置し、京都府・京都市・JETRO京都による支援を実施予定。今後、在留外国人及び留学生の起業を促進し、経済の活性化や一層の国際化、スタートアップの集積を図る。 スタートアップビザ制度の導入に向け、申請準備中。
Startup Guide Japan 2020 ＜府市協調＞	京都のスタートアップエコシステムを、世界中のスタートアップ・VC・アクセラレーター等にPRするため、Startup Guide Japan 2020の掲載を準備中。
京都スマートシティエキスポ の開催 ＜府市協調＞	2014年より、関西文化学術研究都市において、国際的なビジネス・学術交流を目的に京都スマートシティエキスポを開催。2019年は、海外27カ国・地域からの534名の参加、総来場者数は延べ12,350名。PwCコンサルティング 合同会社、ソフィア市、香港貿易発展局の各機関と、それぞれのスマートシティづくりや地域経済活性化などに関する協定を締結する等の成果があった。これにより、立地企業や中小・ベンチャーを含む京都企業の海外展開、さらには新分野進出等を促進し、海外からの企業・研究者の流入・活性化を図る。また同年はグローバルなスタートアップイベント「4YFN」の幹部も参加し、将来的な京都開催を含めて協議中。
Kyoto Makers Garageにお ける取組 ＜京都市＞	京都市等が運営するKyoto Makers Garageでは、海外展開を目指すスタートアップや起業希望者へ、成長に必要な要素やトレンドを外国人起業家等から学ぶ起業家教育イベント等を実施するとともに、英語版HPでは京都のエコシステム等の情報を国内外に発信している。
リサーチコンプレックス事業 ＜けいはんな学研都市、京都 府＞	関西文化学術研究都市で展開する「リサーチコンプレックス事業」においては、国内外のスタートアップが参加するアクセレーションプログラム（KGAP+）や企業等からの課題解決を目的としたグローバルオープンイノベーションによる事業化プロジェクト創出プラットフォーム（KOSAINN）による共同実施プロジェクトを展開。 ・国内221機関、国外156機関の合計377機関との連携・協力関係を構築（2019.12時点） ・共同実施プロジェクト、9件展開中

6. 他の自治体等との連携（都道府県と市区町村の連携、連携都市など）

取組名等	事業内容
万博成功に向けた京阪神連携	万博の開催を控え、「（一社）2025年日本国際博覧会協会」に、大阪府、大阪市、京都府、京都市、兵庫県、神戸市等からの職員派遣を行うなど、京阪神一丸となって対応。万博を京阪神のスタートアップ ^o の取組を発信する場として活用し、世界から人、カネ、技術の集積を図る。
メディカル分野における京阪神連携（京都府）	平成27年、健康長寿を達成するための新たな産業創造や持続可能性のあるまちづくりを検討するため、産学公連携の新たなプラットフォームとして、「関西健康・医療創生会議」を設立。今年度、医療を担う新たな人材創出に向けて、「関西広域医療データ人材教育拠点形成事業」を開始
けいはんな学研都市における取組（京都府）	京都府・大阪府・奈良県にまたがる京阪奈丘陵地に立地する関西文化学術研究都市（けいはんな学研都市）においては、関西の経済界、地元3府県8市町と連携し、世界トップクラスの研究開発型オープンイノベーション拠点形成を目指し、優れた研究成果を活かしたイノベーション創出を支援。
関西圏国家戦略特別区域会議（京都府）	2014年、内閣府特命担当大臣（国家戦略特別区域）、大阪府、京都府、兵庫県の3知事、(株)島津製作所等の関西を代表する企業の代表者による「関西圏国家戦略特別区域会議」を設立し、関西圏国家戦略特区の認定を推進。
大阪市との連携（京都市）	大阪市の産業部門との人事交流を実施。京都市と大阪市との間で定期的な連絡会議を開催。Hack Osakaにおいて、京都市、大阪市、神戸市の3都市が連携して、VC・スタートアップを各都市の支援施設（京都は、京大iCAP、イノベーションハブ京都）に招き、マッチングを実施。
ボストン市との連携（京都市）	ジェットロと連携し、ライフサイエンス分野に強みを持つボストン市とのビジネス交流促進に向けた取組を推進。姉妹都市締結60周年となる今年度は、ボストン市での記念事業やライフサイエンス分野のボストン企業等を京都市に招へいし、対日投資カンファレンスを開催。

7. 国の施策との連携（特区、地方創生交付金事業など）

スタートアップが研究開発・実証実験できるエリアを創出～けいはんなでの「スーパーシティ構想」の実現も視野に～

<スマートけいはんなプロジェクト(国交省スマートシティ先行モデル事業)>

- ▶AIやIoT技術による次世代モビリティや、最先端デバイスを活用した健康長寿サポートなどを計画
- ▶グリーンスマートモビリティの導入を契機としたMaas、健康、エネルギーを組み合わせたまちづくり

グリーンスマートモビリティの歩道走行、
運転手要件(2種免許)緩和等が必要
「スーパーシティ構想」実現により、けいはんなでの
研究開発・実証実験が活性化

(1) 特区の活用

取組名等	事業内容
iPS細胞から製造する試験用細胞等への血液使用の解禁	概血液法の規制緩和を活用し、採血された血液を原料としたiPS細胞等を用いたリサーチの製造・販売を行う。 【認定事業者：(株)iPSポータル(平成27年9月9日)】 京都府から1,000万円出資による支援 CMT(シャルコマリートゥース病)等患者から採血された血液を原料として、iPS細胞等を作製し、リサーチの製造・販売およびこれを用いた評価受託を行う。【認定事業者：(株)幹細胞&デバイス研究所(平成30年12月17日)】
iPS細胞由来の血小板製剤供給事業 (課税特例措置)	「特別償却・投資税額控除」「研究開発税制の特例」「固定資産税の課税標準の特例」を活用し、ヒトiPS細胞から、安定的に高品質の血小板を産生し、献血に依存しない 安全性の高い、安定供給が可能な、医療コストの低い輸血を実現するための血小板製剤の供給にかかる研究開発を実施。 【認定事業者：(株)メガカリオン(平成27年3月19日)】 第2回日本オープンイノベーション大賞「科学技術政策担当大臣賞」受賞(令和2年)

(2) 地方創生交付金の活用

事業名	交付金充当額	事業概要
次世代人材育成・産業創造事業 <京都府>	16,800千円 (令和元年度)	京都経済センターを核としたオール京都体制による、スタートアップ支援の強化、次世代産業の人材育成のレベルアップを図る。
「京都経済センター」の整備 <京都府>	981,406千円 (H29補正)	中小企業応援隊が配置された支援機関などが連携、協力を図り、中小企業支援機能を集積し、府域の中小企業が抱える課題にオール京都の総合力を結集して取り組むための新たな時代に相応しい総合支援拠点として「京都経済センター」を整備
次世代医療ICT新事業創出事業 <京都市>	5,050千円 (令和元年度)	京都大学をはじめ、大学・研究機関が集積する京都市の強みを活かし、健康・医療データを活用した新事業展開に関心のある企業と大学研究者等のマッチング等により、産学連携プロジェクトの創出を図る。
ライフサイエンスベンチャー創出支援事業 <京都市>	6,650千円 (令和元年度)	ライフサイエンス分野における起業を目指す人材に対し、ビジネスモデル構築等の支援を行うとともに、創業初期ベンチャーへのインキュベーション施設賃料を補助する。
けいはんなロボット技術センター <京都府>	17,758千円 (H29補正)	けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)に、自律ロボット等の開発・実証に必要なセンサープラットフォーム環境を有した共同利用型技術実証拠点として「けいはんなロボット技術センター」を整備

8. スタートアップ調達

(1) 購買制度

京都府「チャレンジバイ」

- ・米国で実施されている「SBI R制度」を、都道府県では全国に先駆けて「チャレンジバイ」制度として創設（H19年度～）
- ・府内の中小企業やスタートアップなどの優れた新商品・新サービスを認定・公表
- ・PRし、**府庁での率先購入や新商品などの販売促進**を図る。

【認定実績】

93社、109商品（累計数、令和元年12月末時点）

【主な導入実績】

- ・軟質心臓モデルの府立医大への導入（株クロスエフェクト）
- ・遠隔操作や自動運転可能なロボット作成サービスの導入（株Keigan）
- ・超微細気泡発生装置の農林センターへの導入（株グリーンバブル研究所）



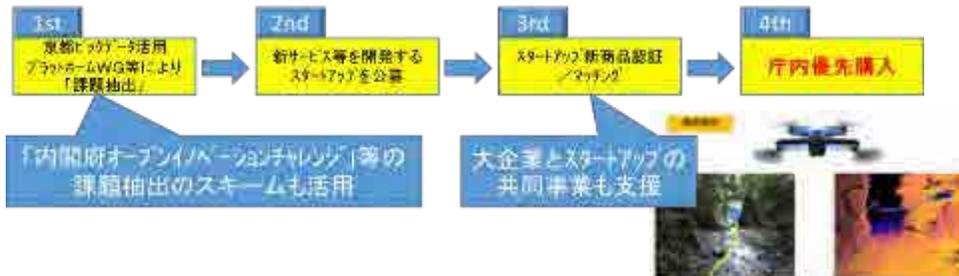
(例)心臓模型

(2) 社会課題解決型

新規 R2

テーマ募集型社会課題解決プロジェクト

- ・スタートアップに対し、地域課題を解決する**新サービス・ビジネスのアイデア**発掘から**新サービス等の商品化に向けた可能性調査、開発された新サービス等の認証・広報・マッチング**機会の拡大及び**買取等の販売促進、購入支援**まで、一貫した支援



(例)障害物回避ドローン

京都市「ベンチャー購買制度」

- ・Aランク認定企業（ ）等による新規性を有する商品・役務を本市の随意契約の対象となる「新商品」として認定し、スタートアップの販路開拓を支援する（H20年度～）
- （ ）「京都市ベンチャー企業目利き委員会」において、有望なスタートアップ企業等の発掘、認定から成長支援までを一貫して行うベンチャーサポート策を展開（Aランク認定企業数：141社、うち上場：5社（R1.1月末時点））



(例)新素材による京都市の橋梁への塗装

【認定実績】

44社、67商品（累計数、令和元年12月末）

【主な導入実績】

- ・腐食を抑制する反応性塗料の橋梁や動物園への導入（株京都マテリアルズ）
- ・地震感知器の小学校、感震コンセンの公共建築物への導入（第一通商株）
- ・環境循環型土の小学校への導入（東和スポーツ施設株）
- ・光触媒塗料の公共トイレへの導入（株ササミック）

新規 R2

次世代産業×大学発ベンチャー 社会課題解決のための技術開発プロジェクト

- ・行政課題の解決につながる研究を行う研究者に対し、**研究開発への助成、実証実験のフィールドの提供、技術開発へのフィードバック等の支援**を行い、製品やサービスの開発につなげる
- ・研究開発の成果を金融機関、VC等の**投資家に対して発表する場を提供し、大学発ベンチャーの起業・発展をサポート**

事業スキーム(案)



1. 地域で活動するVC、アクセラレーターの取組

地域VCによる積極的な支援

- ・ VCや金融機関、公的機関等が連携して各種ファンドを設立し、スタートアップに積極的に投資。ものづくりからライフサイエンスまで様々な分野のスタートアップを支援。
- ・ 京都大学を始めとする大学発ベンチャーへの投資も活発で、大学の「知」の事業化に大きく寄与している。
- ・ 創業初期ベンチャー企業の成長促進を目的に官民連携で「京都市スタートアップ支援ファンド」を設立（H28.3）

 BIOME

 HACARUS

 Baseconnect



J-startupをはじめとしてこれまで
16社に投資実行済み

- ・ 京都におけるVC運用規模：総額約650億円!

・ 独立系VC、金融機関系VCなど約10社による連携会議を実施することで、支援体制の強化や効率的・効果的な投資実行のための情報交換も行っている。



相次ぐスタートアップ支援拠点の開設

**KYOTO
MAKERS
GARAGE**

京都市がMonozukuri Ventures(ハードウェアスタートアップのアクセラレーター、VC)等と連携し、オープンイノベーションの拠点の設立。これまで国内外の約65社のスタートアップの支援を行う【H29年9月開設】

 Phoenix
Super Ecosystem

大企業発のユニコーン創出を目指すインキュベーター、VC()の京都への誘致、社会課題解決型ユニコーンの創出のためのアクセラプログラムの実施。富士フィルム・味の素等大企業のイントレプレナー候補及び社会起業家21名(1期目9名、2期12名)が参加【R1年6月開設】

現在ファンド組成に向け準備中

**PLUGANDPLAY
JAPAN**

設立以後2,000社以上の支援実績のある、グローバル・ベンチャーキャピタル/アクセラレーターの京都進出【R1年7月開設】



「Phoenixi」



「Plug and Play」

「Kyoto Makers Garage」米・スタンフォード大学の受け入れ(ものづくり講義)

2. スタートアップを支援する地域の大企業・中堅企業の取組



現状の取組

スタートアップとの協業推進（出資、共同開発等）
 Plug and Play等アクセラレーターとの連携
 オープンイノベーション関連拠点の新設（ヘルスケアR&Dセンター、SHIMADZU 未来共創ラボ、Shimadzu Tokyo Innovation Plaza）
 自治体との取り組み強化（京都府等）
 スタートアップとの協業、新事業アイデアの立ち上げを推進する社内チームを立ち上げ（Shimadzu Innovation Platform with Startups（SHIPS））

課題

事業化、社会実装に向けた取り組みの加速
 新しいビジネスモデルの構築



今後の取組

スタートアップとの協業推進（出資、共同開発等）
 社内の新事業アイデアの立ち上げ推進（スタートアップとの協業、カーブアウト等）



現状の取組

UETGGPグループは、5幼斥コア技術である「表面処理技術」「直接描画技術」「画像処理技術」示裁央、それらを構成する要素技術を半導体襍儻、崑載襍儻、ディスプレイ市場、プリント基板市場などに展開

- 地域企業への出資1喃
 オープンイノベーション戦略として、地域企業への出資・支援示礎わ
- 大学との共同研究開発（地域企業出資先例）
 UETGGPのものづくりのシーズを活かし、瓏学の持つ技術の実用化を推進



課題

- 持続可能な社会実現のために取り組むべき課題の特定
- ベンチャー企業・大学の持つシーズ情報の発掘

今後の取組

- 地域活性化包括協定を通じた取り組み
 地域の自治体と協働して、縉銖涇斥P援・活性化を推進することで、社会課題の解決に取り組めます。



主な活動内容

けいはんな/みなとみらいリサーチセンターの活動

材料、デバイスの研究開発を行う、けいはんなリサーチセンターには、オープンスペースがあり、周囲にオープンイノベーションセンターを併設し、スタートアップや様々な交流イベントを開催。

又、昨年、横浜みなとみらいに、リサーチセンターを設立し、オープンイノベーションを推進するための共創スペースが設置され、スタートアップや他企業等、社内外の人が活発に交流。これら拠点で、オープンイノベーションや、スタートアップの取組みを実施。



けいはんなリサーチセンター



みなとみらいリサーチセンター

子ども向け歯ブラシ「Possi」の開発
 スタートアップ創出プログラムを通じて、ライオン社と共同で、子供向け歯ブラシを開発。これまでの事業領域には無い新製品を開発。



子ども向け歯ブラシPossi

ベンチャーキャピタル/アクセラレーターを通じた取組
 昨年、国内外のベンチャーキャピタルに出資を行い、ハバの開発企業や、MIT発のリチウム電池開発企業などと協業。又、Plug and Play KYOTOにファウンディングパートナーとして参画。京セも、スタートアップとして創業し、今日に至っており、この活動を通して、京都の地から新たなスタートアップを生み出せるよう取組んでいます。

3. エコシステムにおけるキーパーソン・インフルエンサーの取組



VCで日米スタートアップへの投資、更には京都・大阪でのアクセラレーション等の立ち上げを行う。2015年、京都試作ネットと連携してスタートアップの試作支援・ベンチャーキャピタルであるDarma Tech Labs(現Monozukuri Ventures)を創業。2017年7月には「MBC Shisakuファンド」を設立して日米20社以上のスタートアップに投資を行う。2019年2月関西財界セミナー「特別賞」受賞。2005年神戸大学大学院修了。

Monozukuri Ventures
代表取締役 牧野 成将

ものづくり



京都工芸繊維大学准教授
KYOTO Design Lab
Sushi Suzuki

グローバル・イノベーション

京都市生まれ、アメリカに15年以上、ヨーロッパに5年以上居住。スタンフォード大学機械工学修士号、ライス大学機械工学士号およびスタジオアーツ文学士号取得。現在は、京都工芸繊維大学KYOTO Design Lab・デザイン建築学・准教授として、世界的デザインファームであるIDEOが掲げる「デザインシンキング」をベースに様々なプロジェクトを企画実施そして自らも教鞭をとる。スタンフォード大学 ME310 ディレクターとしても活動するとともに、スタートアップ企業の立ち上げメンバーも経験



国際電気通信基礎
技術研究所
代表取締役専務 / 理学博士
鈴木 博之

グローバルネットワーク

東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。有機物質、酸化物結晶等を用いた基礎・応用・実用化研究等に従事。2007年より、ATRにおいて、ATRの経営全般、ATRグループの経営戦略を統括・推進

- ・MOUの締結(スペイン、イスラエル、アメリカ、カナダ)等による海外ネットワーク構築
- ・アクセラレーションプログラム(KGAP+)の立ち上げ



taliki
代表取締役 中村 多伽

ソーシャルアントレプレナー

2018年京都大学卒業。在学中は非営利団体でカンボジアの小学校建設と教育支援を行う。その後、NYのビジネススクールに通いながら、報道局に勤務。在学中の2017年に(株)talikiを設立し、運営する社会起業家育成プログラムには延べ100名以上が参加。その他オープンイノベーション事業、VC運営事業、年二回のソーシャルイノベーションのカンファレンスには、過去約1,000名が参加。



(株)産学連携研究所(AIR)
代表取締役 隅田 剣生

ライフサイエンス

大学卒業後、プラントエンジニアリング業界でプラント機器の営業に従事、あらゆる産業分野の営業を経験。2004年からNEDO、大阪大学、文部科学省、東京大学等で産学官連携コーディネーター等を歴任し、多数の大学発ベンチャー・産学連携プロジェクトの組成、マネジメント業務に従事。2010年から現職。京都大学産学連携フェロー。大阪府立大学卒業、神戸大学大学院修了。



京都大学大学院総合生存学館
産官学連携本部 教授 / 理学博士
山口 栄一

イノベーション理論 / アカデミック

専門はイノベーション理論、物性物理学。東京大学大学院理学系研究科物理学専攻修士修了。理学博士(東京大学)

- ・5社のハイテク・ベンチャー企業を創業
- ・日本ベンチャー学会副会長、京都府スタートアップ・エコシステムアドバイザー等として活動

1. 地域における大学のスタートアップ創出・支援の取組

「京大モデル」 エコサイクル/産学連携バリューチェーン

京大オリジナル(株)、(株)TLO京都、京都大学イノベーションキャピタル(株)、京都大学産官学連携本部、京都大学オープンイノベーション機構が有機的に連携する「京大モデル」により、京都大学の「知」を社会につなげ、「価値」の最大化、「収益」の還元を行いながら、イノベーションの創出に取り組んでいます。



京大式ベンチャー支援体制

子会社京都iCAPは公的資金を、京大認定ファンドは民間資金を、それぞれ運用し、相互に協調・補完して京大発ベンチャーを育成するエコシステムを構築しています。

【現在運用中のファンド】

- ・京都iCAP 1号ファンド (2号ファンド設立準備中)
- ・日本ベンチャーキャピタル 認定1・2号ファンド
- ・みやこキャピタル 認定1・2号ファンド

ブレインキュベーション事業

- ・GAPファンド (300万円/年)
研究成果の実用性を検証するための研究課題に対し支援を行い、研究成果の事業化を推進しています。
年間60件超の応募があり、うち20件程度を採択
- ・インキュベーションプログラム (最大3,000万円/年)
本学教職員と起業家が協力し、ベンチャーキャピタルからの資金調達を目指すプロジェクトに対し支援を行い、研究成果の事業化を推進しています。
年間30件超の応募があり、うち4-5件程度を採択
- ・ベンチャーインキュベーションセンター
京都大学の研究成果の事業化を行う「スタートアップ企業」または「起業予定の個人」を対象としたオフィススペースをレンタルしています。

取組の成果 (近年のベンチャー創出数)

大学別大学発ベンチャーの増加数 (2016~2018年度)



出典：2019経産省大学発ベンチャー調査

2. 地域の大学における起業家教育の取組

京都大学産官学連携本部・IMS研究部門が実施・展開する教育プログラム

- 受講者の起業に対するコミットメントのレベルに応じ、難易度別にコースを設定し、エントリーレベルから、実際のローンチまでをカバー。
- 知識の伝達よりもPBL（Project Based Learning）を重視。
- プログラム全体を通じて、Autonomy（参加者の自立性、主体的参加）、Relatedness（社会との関係性、有用性）、Competence（価値ある研究成果の活用、世界に通用するビジネス）の3点を重視。

カテゴリー	コース内容
(1) アクセラレーション (EDGE-NEXT)	メンタリング・コーチングによりVCからの資金調達を支援する「GTEPカタパルト」
(2) 事業創出PBL	「技術イノベーション事業化コース」（東京・京都開催） 学生、院生、社会人、研究者等を対象
(3) 大学院共通教育	「アントレプレナーシップ入門」、「アントレプレナーシップ演習」、 「知的財産」
(4) 全学共通科目	「イノベーションと経済社会」（ILASセミナー）
(5) エントリー (EDGE-NEXT)	「起業と事業創造」、「ベンチャー経営論」、「キャリアセミナー@京都」
(6) 高大接続プログラム	ELCAS「ミライを創る講座」
(7) 連携授業	AI、デザイン思考等、海外機関と連携して提供する不定期の集中講義（1週間程度）。
(8) 事業化プラットフォーム	KUEP（Kyoto University Entrepreneur Platform）デジタル・ファブリケーション ツールを活用したプロトタイピング、各種ミートアップの実施、学生の自主的な活動支援

3. 大学と地方自治体、民間のスタートアップ創出・支援に関する連携

アカデミアの叡智と高い技術力を有する中小・ベンチャーの連携

京都大学吉田キャンパス
国際科学イノベーション棟



京都大学をはじめ大学の知のシーズを実用化させる取り組みを京都府・京都市と連携。起業支援や産学公連携により、社会実装を進めるための支援活動を府市協調で展開

- ▶ 京都には、大学研究シーズ等をベースにした「研究成果型ベンチャー」が多いことが特徴
世界初iPS細胞から血小板製剤の作製を行う「メガカリオン」
AIを活用した社会課題解決を行う「エクサウィザーズ」等
- ▶ シード期の起業家育成から、レイター期での実証や製品化に至るまでオール京都体制で支援
大学構内に設置された「京都市ライフイノベーション創出支援センター」とも連携し、研究成果を事業化

京都大学経営管理大学院
(ビジネススクール)による
アントレプレナー教育

京都市ライフイノベーション創出支援センター
(京大・医学部附属病院内)



ACT京都



シード

起業支援
(アーリー)

- 京都大学起業家プログラム、アクセラレーション等
- 京大iCAPによる資金支援
- 京大KUBML (医学領域産学連携推進機構) とPlug and Playの連携プログラム

- 京都市スタートアップ支援ファンドによる資金支援 (VCによる出資)
- 京都発革新的医療技術研究開発助成事業 (最大130万円の資金支援)
- KUViC、けいはんなベンチャーセンター、Impact Hub Kyoto、京大桂ベンチャープラザ等のインキュベーション・コワーキングによる支援
- 京大認定ファンド (みやこキャピタル株、日本ベンチャーキャピタル株) による資金支援

- 産学連携、産産連携等のコーディネート (京都府・京都市)
- 京都発イノベーション支援強化事業、「企業の森・産学の森」推進事業 (最大5千万円の資金支援)
- 次世代地域産業推進事業 (先端技術の産学連携PJへ最大1,000万円の資金支援)
- 京都市成長産業創造センター (ACT京都) との連携による研究成果の事業化 等

- 国家戦略特区を活用した実証支援 (京大COIプログラム等)
- 京都発スター創生事業 (ベンチャー企業の資金調達支援)
- けいはんなベンチャーチャンピオンシップ (スタートアップの資金調達支援)
- けいはんなグローバルアクセラレーションプログラム (スタートアップの日本市場/海外市場展開、PoC支援)
- けいはんなオープンイノベーションセンター (KICK) 等を活用した実証実験の支援



KICK



スター創生

- 京都大学×京都銀行連携事業 全ステージで支援 (京大の研究成果を地域企業につなぎ、地元基盤を活性化、京都銀行から京大認定ファンドへの出資、京都銀行行員を京大に派遣)

開発・事業化支援
(ミドル)

実証・製品化
(レイター)

新商品開発

新分野進出

スタートアップ創出から社会実装までを加速

1. 都市の集積・環境の概要 (グローバルな人材を惹きつける環境)

都市の特徴

- ・京都は高い国際的知名度を有し、企業・研究者が集積
- ・アート&クラフト、コンテンツなど文化資源を元とした起業環境が充実

○世界的な高い技術をもった企業群・世界的な研究者の集積

- ▶京都リサーチパークには、京都府市の支援機関と480の企業・団体が入居し、起業家、研究者など約5千人が活動
- ▶島津製作所、京セラ、村田製作所、日本電産、ローム 等
- ▶京都の大学、企業から多くのノーベル賞受賞者(11名)

○グローバル企業による研究開発部門の立地など

- ▶LINE・マネーフォワード・Sansanなどのメガベンチャーの開発拠点パナソニックデザインセンターなど
- ▶フェニクシー、Plug and Play Japanが京都へ

○けいはんな学研都市には150超の研究機関等が集積

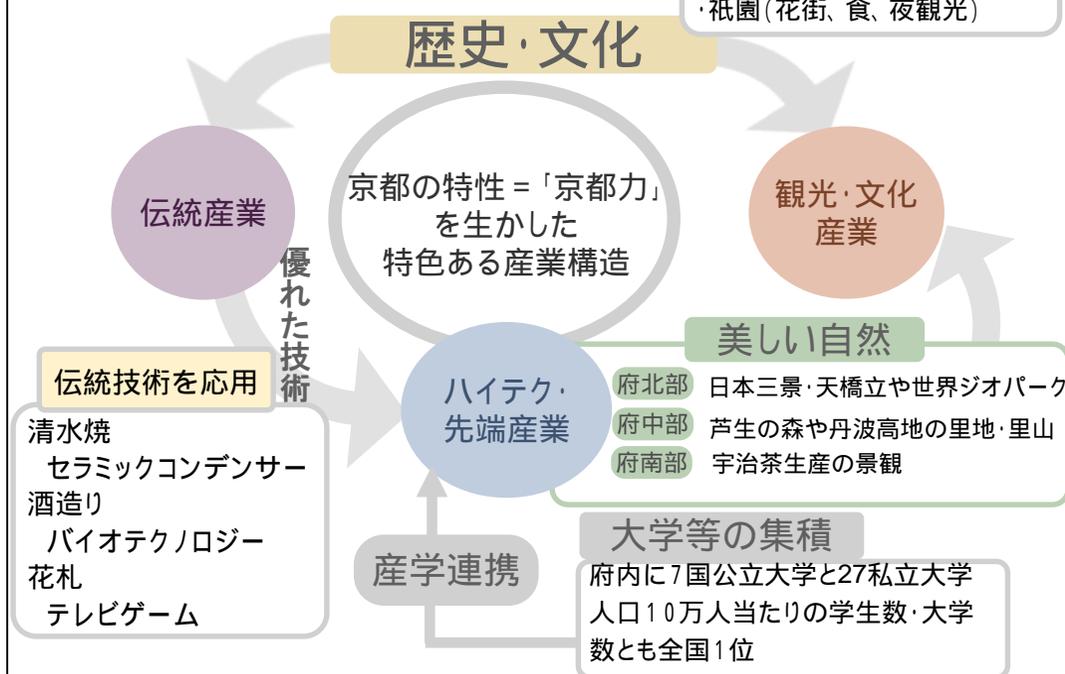
- ▶京セラ、オムロン、島津製作所、日本電産などの研究所のほか国際高等研究所、国立国会図書館関西館など国の機関、京都大学や奈良先端科学技術大学院大学など

○アート&クラフト、コンテンツ等クリエイティブ事業の取組

- ▶KYOTO STEAM-世界文化交流祭-
「アート×サイエンス・テクノロジー」をテーマに文化芸術の新たな可能性と価値を世界に問う新しい形態の国際的な文化・芸術の祭典の開催
- ▶「Design Week Kyoto」
「京都をよりクリエイティブな街に」をテーマに「オープンファクトリー」、「クラフトソン」等のデザイン関連事業を開催
- ▶「BitSummit」
京都で開催されるインディーズ系ゲームクリエイターの世界的な祭典。参加者の約4割が海外のクリエイター。
- ▶アートの産業応用を目指す共同研究
京都大学と凸版印刷(株)は、アートと最先端テクノロジーを組み合わせ合わせてイノベティブな社会的価値創造を目指す「凸版印刷アートイノベーション産学共同講座」を開設

魅力

スタートアップの創造性を刺激する
歴史・文化、観光、食、自然



世界から人が集まる高い知名度
(2018年の外国人宿泊者数450万人(前年比100万人増))

○都市特性評価

- ▶日経新聞 : SDGs 先進度 第1位(環境を重視した持続可能性)
- ▶森記念財団 : 日本の都市特性評価 : 第1位(観光資源・文化・研究開発)
- ▶米・トラベル&レジャー社「World's Best Cities for Culture」 : 第1位
(日本の精神的な中心都市として高く評価された)
世界を魅了する「多様性と包摂性のある社会」の素地を有する



都市の環境・繋がり状況

2. スタートアップ支援の中心となる施設・場 (公的施設・民間施設)

京都スタートアップエコシステムマップ

スタートアップ支援の中心となる施設・場(公的施設)
 経済センター(KOIN)
 イノベーションハブ京都
 クリエイションコア京都御車/ STC3
 Kyoto Makers Garage
 京大桂ベンチャープラザ/ D-lab
 京都市成長産業創造センター

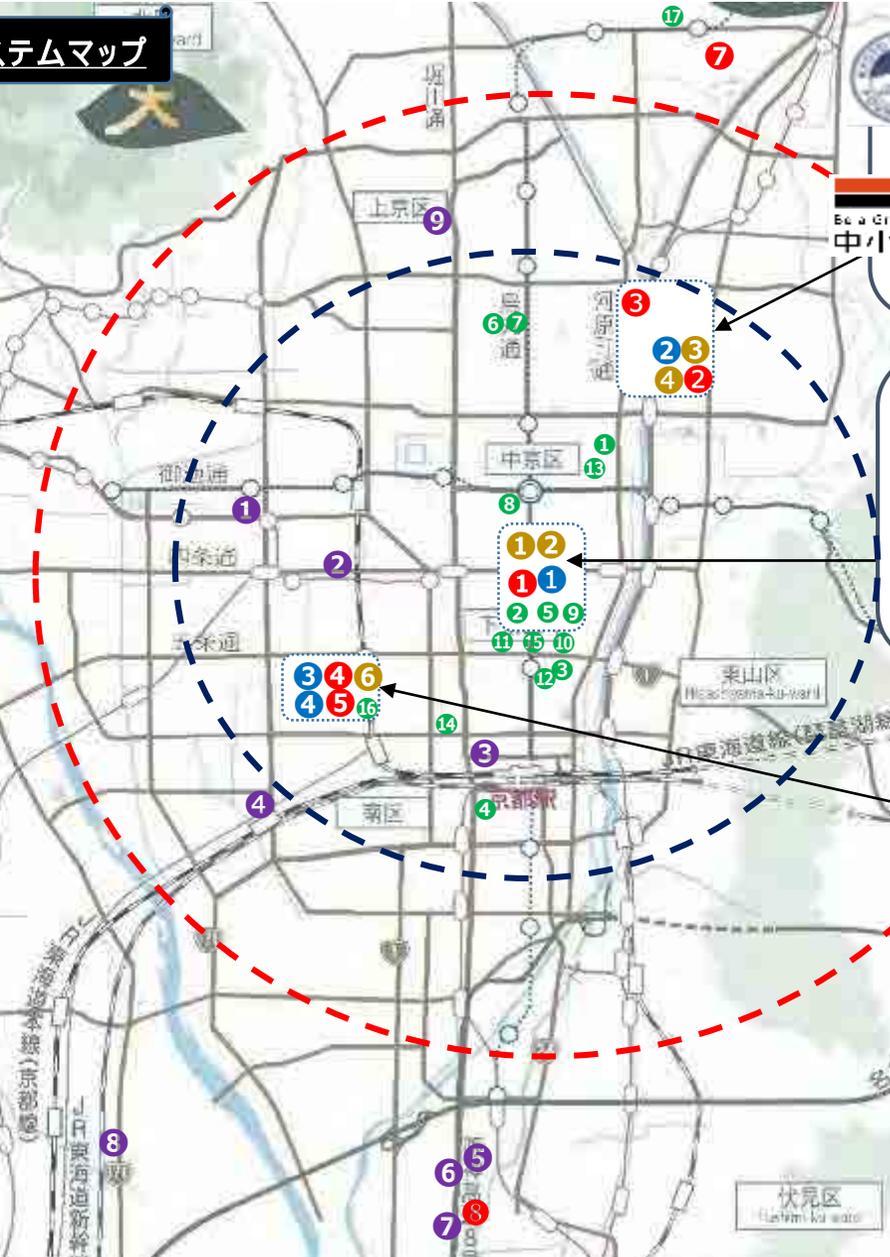
スタートアップ支援の中心となる施設・場(民間施設)
 engawaKYOTO/ toberu
 京都リサーチパーク(KRP)
 Canopy・たまり場(KRP内)

スタートアップを支援する地域企業
 島津製作所/ NISSHA/ オムロン
 堀場製作所/ サムコ/ 京セラ
 クロスエフェクト/ 日本電産/ SCREEN

地域で活躍するVC, アクセラ
 FVC/ Plug & Play/ 京都iCAP/
 フェニクシー/ taliki/ Monozukuri
 Ventures

シェア・コワーキングスペース
 外国人起業家の利用や、町家を改修したもの、
 またエンジニアやコンテンツクリエイター等業種
 別に特色を持つスペース等が多様に存在している

アンドワーク京都 / FVC Mesh KYOTO
 MTRL KYOTO / ワコールスタディーホール京都 / Co&Co / KRP町家スタジオ/
 Impact Hub Kyoto / Ogyaa's 御池/ oinai
 karasuma / オトナリラボ/ GROVING
 BASE / コミュニティラボN5.5 /
 CIGOTO no BA / coto / コワーキング
 ラボ京創舎 / Technology Startup
 Accelerator / Hanare Iwakura



京都大学エリア
 世界最高水準の研究開発力を持つ京都大学を中心として、京大オリジナル、京都iCAP、関西TLOによる京大発スタートアップ創出を強力に支援
 中小機構
 中小機構が運営する「クリエイション・コア京都御車」による、ライフイノベーションの創出及びスタートアップ支援
 京都大学工学部には、京大桂ベンチャープラザを設置
 ・優れたビジネスアイデアを有する大企業の社員の方々が、食住を共にしながらイノベーションを創出する取組を行うフェニクシーの拠点「toberu」

市内中心エリア
 京都の経済団体が集結した「京都経済センター」。同センター内の「オープンイノベーションカフェ」では多様な人々が集い「交流と融合」を促すことで新しいビジネスを創出。
 ・世界有数のアクセラレーター・VCであるPnPの京都拠点「engawaKYOTO」で国内外のスタートアップの誘致を実施!

京都知恵産業創造の森  **PLUGANDPLAY JAPAN**

KRP地区
 ・480社、約5000人が集積する本市最大の産業集積地域(詳細はP23)

 
 京都市産業技術研究所  京都産業21

けいはんなエリア
 ・けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)
 ・学研都市コワーキング「Unicorn」



円: 市内中心地(四条烏丸)から
 (赤色): 半径約5km
 (青色): 半径約3km

都市の環境・繋がり状況

3. スタートアップや支援者の交流する場（シェアオフィス、カフェなど）

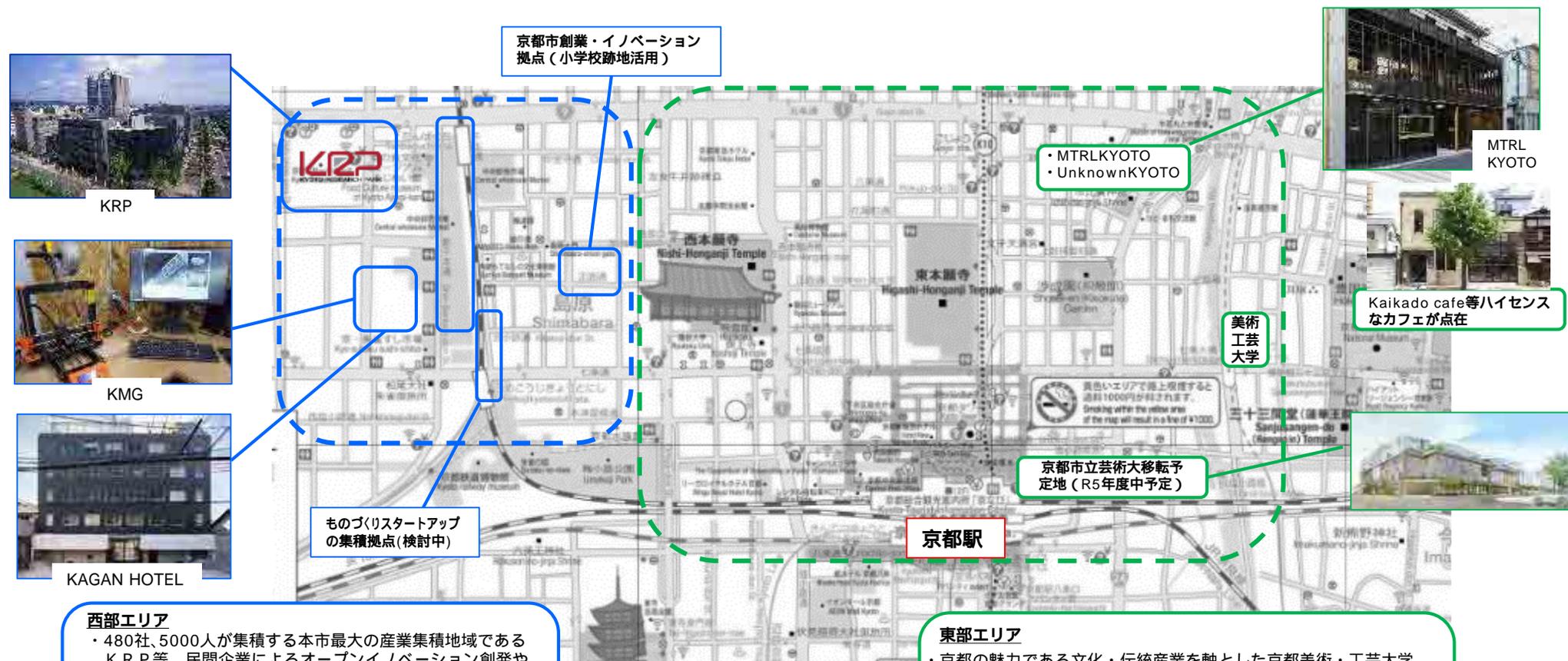
中心地（京都経済センター）以外にも、京都駅の西部・東部にスタートアップ支援や、それを惹きつけるクリエイティブな施設が集積

1. 京都駅西部エリア（左側・波線部）

サイエンス・ものづくりを中心とした企業集積があり、産学公連携と新産業創出の拠点「京都リサーチパーク（KRP）」地区や京都市中央卸売市場周辺に、支援機関、スタートアップの交流の場が集積。今後、既存建物のリノベーションによるものづくり及びアートを中心とした集積が期待。

2. 京都駅東部エリア（右側・波線部）

歴史・文化資源、伝統産業、芸術系大学が集積するこのエリアに、今後、さらにスタートアップ交流の場の集積が期待される。



西部エリア

- ・480社、5000人が集積する本市最大の産業集積地域であるKRP等、民間企業によるオープンイノベーション創発や起業部の活動のほか、ASTEM、京都産業21等の公的機関の起業家育成によりスタートアップ支援を実施
- ・ハードウェアスタートアップ支援拠点であるKMGも所在。
- ・KAGAN HOTEL（コミュニティ型アートホテル）等、アーティスト等のクリエイティブも集積

東部エリア

- ・京都の魅力である文化・伝統産業を軸とした京都美術・工芸大学を誘致。また、R5年度中に、京都市立芸術大学が京都駅周辺に移転
- ・**クリエイティブ人材の集積**
- ・MTRLKYOTO（スタートアップ交流イベント開催）、UnknownKYOTO（住居一体型ワーキング）など、スタートアップが交流する場も
- ・またクリエイティブを喚起するカフェも点在

4 . スタートアップ関連イベントの開催状況

京都スタートアップエコシステムでは、「ディープテック」、「大企業連携」、「ものづくり」等、多様なジャンルのイベントを開催（以下、主たる事業を記載）

ジャンル	イベント名	場所	主催者	参加人数
ディープテック	Healthcare Venture Conference KYOTO 2019	京都リサーチパーク	京都府、京都市、ジェトロ	約250名
大企業連携	Pitch in Shimadzu	島津製作所本社	Plug and Play Japan 等	約180名
大企業連携	京都府発スター創生事業	京都経済センター	京都府 / 京都産業21	約150名
ものづくり	Monozukuri Hardware Cup 2020	京都リサーチパーク	モノづくり起業推進協議会、京都市 等	約100名
国際起業家育成	Kyoto Startup Summer School	京都工芸繊維大学	京都工芸繊維大学 D-lab	約50名
ライフサイエンス	Regional Business Conference	京都経済センター等	京都市、ジェトロ 等	約100名
大企業発 社会起業家	フェニクシーファイナルショー ケース（年2回開催）	京都大学芝蘭会館	フェニクシー	約180名
外国人起業家 コミュニティー	Kyoto International Entrepreneurs Community (KIEC)	The World Lounge Co&Co KYOTO	グローバル人材開発センター / LYNX / 京都信用金庫 / The World Lounge Co&Co KYOTO	延べ350名（9回開催）
けいはんな	KYOTO SMART CITY EXPO 2019 Keihanna Global Acceleration Program Plus	KICK等	けいはんなリサーチコンプレックス	国内外21社 デモデイ参加者約100名
若手起業家	U35起業家養成プログラム	京都経済センター	京都知恵産業創造の森	延べ235名（1月末時点）



HVC KYOTO



Hardwarecup2020



KIEC



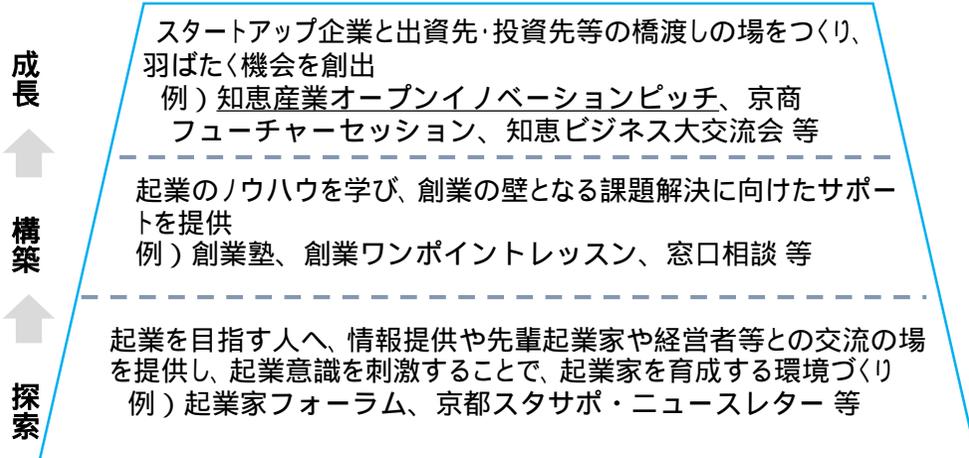
U 3 5 起業家養成プログラム

京都経済センター オープンイノベーションカフェ「KOIN」の利用は、約23,000人（2019.3～2020.1末）

京都商工会議所

現状の取組

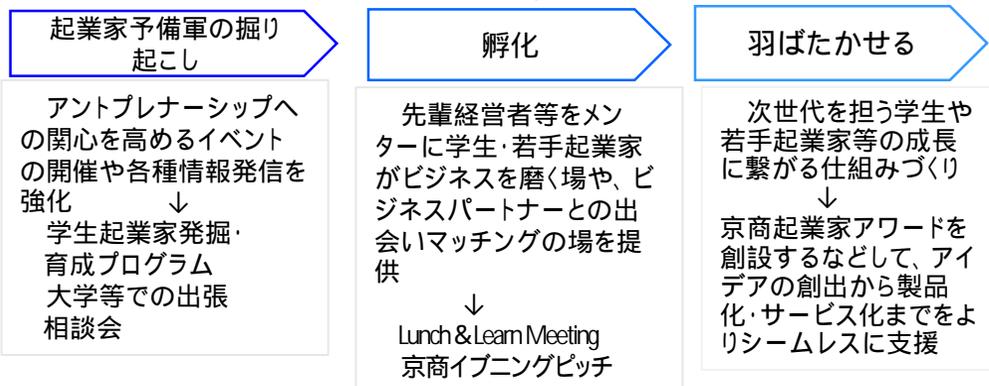
京都商工会議所では、スタートアップを3段階にて支援



今後の取組

京商知恵基金(3億円規模)を造成し、京都・知恵アントプレナー支援プログラム(K-CAP)を実施。

今後10年間で、地域経済の未来を担う起業家や萌芽的ビジネス、地域発ベンチャー、スタートアップ等を集中的に支援する。



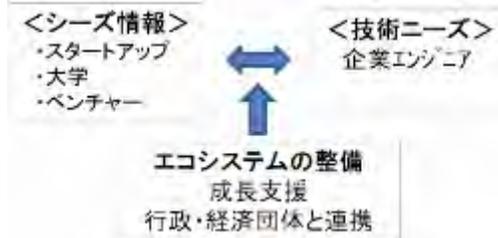
(公社)京都工業会

現状の取組

京都工業会では、スタートアップ支援を見据えたオープンイノベーションを推進

「ものづくりイノベーションネットワーク」の運用

京都工業会会員企業のエンジニアに大学等のシーズ情報直接配信するネットワークの運用を開始しており、次の段階ではスタートアップの情報も提供し、パートナーシップ構築を支援する。



「モノづくりフォーラム」の開催

スタートアップ活用も含め、オープンイノベーションの効果的な推進方法等をテーマに公開フォーラムを開催した。

「スタートアップ先進地エストニア視察訪問」

スタートアップ支援及びエコシステム整備の推進に向けて、スタートアップ先進地であるエストニアを視察した。

今後の取組

「ものづくりイノベーションネットワーク」の強化

・スタートアップの所有する技術を積極的に活用するため、企業内におけるオープンイノベーションマネジメントシステムの整備推進を図る。

・シーズ情報の多様化を図り、スタートアップのシーズ・技術情報にも範囲を拡大する。

・マッチング支援や製品化の実現に向け公設支援機関との連携を深める。

・行政、経済団体と連携し、エコシステムの整備を推進する。



(一社)京都知恵産業創造の森

現状の取組

<オープンイノベーションカフェ「KOIN」を核とした起業家発掘・育成支援>

スタートアップ支援の拠点である京都経済センターに、起業を目指す学生や若者を呼び込み、様々な人々の「交流と協働」を促進し、新たなビジネスや起業に向けた取組を支援

新しいビジネスを生み出す共創の場「KOIN」の運営

・起業家や創業をめざす学生・若者、先輩経営者、支援機関等による、様々な交流や情報交換の場づくりと、気軽な相談窓口の設置

交流と協働を促進するセミナー、イベント等の開催

・ビジネス創出やネットワークづくりを支援するセミナー等を企画実施。入居団体や関係団体、大学、支援事業者とも連携し、新たな価値の創造を促す様々な事業を展開



京都イブニングピッチ会



U35起業家養成プログラム

<産学公連携を通じた大学発の起業家発掘支援>

大学の起業部や大学主催のビジネスコンテストと連携し、大学発ベンチャーの発掘を支援

学生ベンチャーミートアップKYOTO2020

・京都大学起業部との連携によるピッチ会を開催

プレゼン龍2019×SDGs

・龍谷大学ビジネスコンテストをオープンイノベーションカフェ「KOIN」で連携して開催



学生ベンチャーミートアップ
KYOTO2020



プレゼン龍2019×SDGs

産学公連携を通じた若手研究者と企業のマッチング

・官民による若手研究者発掘支援事業プレマッチングイベント
経済産業省、(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)とともに、若手研究者と企業とのマッチングイベントを開催

今後の取組

・ひきつづき創業や新規事業など、新たなチャレンジに一步を踏み出す人を支援

起業家予備軍を対象としたセミナー等の開催

アイデアを具体化するアクセラレータープログラム

ベンチャー企業や学生起業家によるピッチ会の開催

学生起業家のビジネスチャレンジ支援

若手研究者と企業とのマッチング支援

・京都商工会議所が組成する「京都知恵基金」を活用した若手起業家育成事業をはじめ、関係団体と連携し効果的に支援事業を実施するとともに、京都経済センターがオール京都のスタートアップ支援の拠点として円滑に機能するよう「京都スタートアップ・エコシステム推進協議会」の事務局として調整機能を拡充

京都府中小企業技術センター

現状の取組

- ・公設の試験研究機関として、技術相談・依頼試験・機器貸付をはじめとした技術支援、研究会・セミナーによる人材の育成、企業のニーズに応えた研究開発や産学公連携の推進、企業に役立つ技術情報の発信を業務の柱として、企業への支援を実施。
- ・経営支援を担う財団法人京都産業21とともに「京都府産業支援センター」を構成し、「技術」と「経営」のワンストップ総合サービスを提供。

今後の取組

- ・試作支援の強化
中小企業技術センター内の企業連携技術開発室等を活用し、スタートアップ企業、試作センターと連携し、技術開発や品質検査を実施。試作センターとスタートアップ支援の協定を締結し、技術開発のサポートを検討中。

(公財)京都産業21

現状の取組

- 大学発・KICK発ベンチャーとの資金調達の支援、ピッチ会開催によるマッチング支援
- 先端技術の事業化を目指す産学連携グループの支援
- 創業者の開業や事業立ち上げ等あらゆる相談対応

今後の取組

- 大学発・KICK発ベンチャー企業等のフォローアップ、マッチング支援の強化
- 次世代地域産業(先端技術の事業化等)の支援強化
- 京都経済センター等におけるスタートアップ活動強化
- ・ビッグデータ活用プラットフォームによるAI・IoT等の新事業強化
- ・事業部門の垣根を超えてトータルに支援する組織の結成
- ・事業継続・創業支援センターにおける創業支援強化
- ・よるず支援拠点サテライトにおける創業相談の充実強化
- ・京都リサーチコンプレックスの研究成果の地域・企業への展開

(地独)京都市産業技術研究所

現状の取組

- ・高度分析機器を基軸に構築した産学公連携体(ユーザーネットワーク)によるオープンイノベーションの推進
- ・設備機器の開放と京都市産技研職員による技術支援、人材育成事業を通じた高度分析技術を有する技術者の育成

今後の取組

- ・ユーザーネットワーク活性化と更なるオープンイノベーション推進
- ・新事業創出を目指す企業への技術支援
- ・企業と大学の連携による人材育成事業を通じた企業技術者の育成支援、理系学生の分析技術及び研究開発能力の向上

(公財)京都高度技術研究所(アステム)

現状の取組

- 大学発ベンチャーをはじめ、優秀なスタートアップを認定する「京都市ベンチャー企業目利き委員会」を主軸にして、起業家・スタートアップ企業の発掘、育成、事業化への支援をコワーキングスペース等の活用や他機関との連携により展開している。

今後の取組

- 大学等研究機関の研究シーズの社会実装を支援
ライフ分野のみならず、工学系分野の若手研究者等を対象に、社会課題の解決等に資する研究シーズについてのビジネス化を支援し、テック系スタートアップの輩出を図る。
- 外国人留学生等のスタートアップ支援
学生の街「京都」の特性を活かし、スタートアップビザの制度やコワーキングスペース等の活用により、外国人留学生を対象にしたスタートアップ支援を展開する。
- オープンイノベーションによる販路開拓支援
スタートアップ企業の販路開拓を支援するために、大手企業や医療機関等に協力を求め、各組織のニーズ開示によるオープンイノベーションを展開する。

(公財)関西文化学術研究都市推進機構

現状の取組

イノベーション創出に向けて、地域住民の積極的な参加と協力の下、国際総合戦略特区制度等も活用し、国内外のスタートアップの社会実証やPoC(概念実証)を支援しています。

今後の取組

脳情報科学(ブレインテック)分野の社会実証促進に向けた3つのラボの運用支援、地域住民等の実証協力者確保支援、実証実験に関する技術的助言をワンストップで行います。

フィールド・ラボメタコンフォート・ラボ、ブレイン・ラボの統合的運用によるブレインテックの社会実証

けいはんな公道走行実証実験プラットフォーム(K-PEP)の運用
住民協力組織「clubけいはんな」による社会実証への住民参画支援

(株)国際電気通信基礎技術研究所

現状の取組

<ATRシーズを使ったスタートアップ支援>
スタートアップ企業等への研究成果の提供・技術支援や事業化加速プログラムを実施。また、スタートアップの成長をバックアップ。
<けいはんなRC事業(JST)でのスタートアップ支援>
けいはんなRC事業を推進する中で、事業化支援ツールとして、スタートアップ支援に携わっています。

今後の取組

現状の取組に加えて
・グローバル連携を強化/拡充して、スタートアップのグローバル展開支援及び日本展開の支援を強化。
・PoCをゴールとした支援プログラムや事業創出を強化。
・若者(学生等)の起業支援を強化。等

量子科学技術研究開発機構

関西光科学研究所

現状の取組

・QSTベンチャー支援制度
QSTが開発した研究成果(特許等の知的財産権を含む)の最大活用を図り、普及・実用化により社会還元を行うことを目的として、ベンチャー企業を設立する職員を積極的に支援するため、QSTベンチャー支援制度を定めております。

・QSTの認定を受けたベンチャー企業の例(関西光科学研究所で行う研究開発に関連するもの):

ライトタッチテクノロジー(株)(非侵襲血糖値測定器の開発等)
(株)フォトンラボ(インフラコンクリート構造物内部欠陥検査に関わる技術移転・社会実装事業等)

ジェトロ京都貿易情報センター

現状の取組

スタートアップの海外展開支援の具体的な事業
・ジェトロ・グローバル・イノベーション・ハブ
・ジェトロ・イノベーション・プログラム(JIP)
・海外スタートアップイベント出展
オープンイノベーションの具体的な事業
海外スタートアップ招へい及び海外スタートアップ発掘のためのミッション派遣

今後の取組

現状の取組に加え、2020年は以下の事業を予定
2-4月 欧州エコシステム紹介連続講座
3月13日 エストニアスタートアップピッチwithエストニア首相
3月中旬 エコシステム都市別ランキング調査会社招へい
4月以降 オープンイノベーション促進セミナー
7月2日 ヘルスケア・ベンチャー・カンファレンス

京都リサーチパーク(株)

京都リサーチパークの概要

全国初の民間運営による都市型リサーチパーク
大阪ガスの工場跡地を再開発し、31年前に開業

京都府・市の産業支援機関が集積

京都高度技術研究所 (ASTEM)、京都市産業技術研究所

京都府中小企業技術センター、京都産業21 等

多様な分野で480社5000人が働く「まち」

研究開発型企业向けレンタルラボとレンタルオフィスを提供

国際会議も可能なコンベンション施設

周辺にクリエイターやアーティストの拠点も開設 (KMG、KAGAN)

現状の取組

(1) 起業促進の取組

「miyako起業部@KRP」

学生がチームでビジネスプランを作成し、九州大学熊野准教授の指導のもと、国内外のコンテストに応募しながら起業に向けた部活動を行う

オープンスペース「たまり場@KRP」

学生団体等、起業家予備軍、起業支援グループへの無償開放

(2) オープンイノベーション促進の取組

HVC KYOTO(ヘルスケア・ベンチャー・カンファレンス)

ウエルネス・ヘルスケアをテーマとする世界企業をスポンサーとするベンチャー向けピッチ交流イベント(京都府・市、JETRO、京大共催)

MoveOn:「大企業×学生」による社会課題テーマのアイデアソン

KYOTO MAKERS GARAGE(KMG) :ものづくりベンチャー支援拠点

(3) グローバル支援

海外サイエンスパークとの提携による取組

・ASP(Aジアサイエンスパーク協会)とのコラボイベント(Meet台湾)

・Meetイスラエル(京都でのオープンイノベーション・マッチング)

今後の取組

(1) ワークスペース(インフラ)提供の拡充

オフィス、ラボの供給増(KRP区内での新棟建設による)

TurnKeyラボ(シェアラボ)事業展開による実験スペース拡充

KRP地区を含む「京都えきにしエリア」でのスターアップ、デザイナー等若手クリエイターのワークスペース創りを目的としたまちづくり促進

(2) 起業促進の取組拡充

「miyako起業部@KRP」(ピッチコンテスト入選、起業促進、資金調達促進)

MONOZUKURI HARDWEARCUP2020の共催等

若手大学研究者の起業促進(京都の大学×KRP)

KRPサポーター制度(メンター)による起業家支援の拡充

経済センターとKRPの連携イベントによる、情報発信の拡充

海外連携先の拡大によるグローバル支援

KRP地区入居480社とスタートアップ・学生の交流によるオープンイノベーション機会、人材交流機会創出



現状の取組

- ・スタートアップを投資対象としたファンド運営
- ・コワーキング施設の運営

「FVC Mesh KYOTO」(烏丸仏光寺)

入居事業所数:81事業者 会員人数155人(2020年1月)

創業相談会(会員、非会員問わず月に1回無料開催)

- ・行政機関と連携したアクセラレーションプログラム

Startup college KYOTO(2014~2016)

アツギイノベーションプロジェクト「アクセラレーションプログラム」(2019)

今後の取組

- ・ファンド運営でのスタートアップへの切れ目のない資金供給
- ・全国で展開する地方創生ファンドの増加と投資先企業とのビジネスマッチング
- ・IPO、京都に根差した企業を目指すスタートアップへのリスクマネーの供給
- ・テーマファンドの運営 SDGs、社会課題解決型企業を対象としたファンド運営 再生エネルギーなど特定分野を対象としたファンド運営
- ・コワーキング施設を活用したアクセラレーションプログラムなどの充実

株式会社Monozukuri Ventures

現状の取組

ハードウェアスタートアップの試作/量産化支援 -60プロジェクト以上

ハードウェアスタートアップへの投資 -日本13社/米国14社

地域コミュニティにおけるスタートアップやモノづくり文化醸成の各種イベントやモノづくりスペース「Kyoto Makers Garage」の運営

-毎月200名以上が来客

日本のスタートアップのグローバル進出支援のためのピッチコンテ

スト「Monozukuri Hardware Cup」の運営 -100社以上のエントリー

今後の取組

スタートアップ向けの中量生産体制の構築

試作や資金の支援だけでなく、ビジネスモデル、知財、ビジネス展開まで含めた支援策の拡充

海外スタートアップと日本企業(試作+ビジネス展開)の連携の強化

現状の取組

【アクセラレーションプログラム】

- ・国内外からスタートアップ15社を採択し、大企業6社と協業を支援(採択された15社のうち、4社は京都に拠点があり、うち3社は京都大学発のスタートアップ)
- ・外部メンターを招いた勉強会の開催(5回)
- ・京都市リサーチパークにおけるスタートアップ選考会
- ・島津製作所におけるピッチイベント(来場者:170名)

今後の取組

- ・京都大学KUMBLとのインキュベーションプログラム
- ・投資
- ・ブログやソーシャルメディアを通じた情報発信
- ・学生とスタートアップとのマッチングイベント

株式会社フェニクシー

現状の取組

レジデンス併設異業種連携インキュベーター施設「toberu」を2019年6月に京都市左京区に開設。スポンサー企業より社会課題を解決するビジネスアイデアの提案者を受入れインキュベーションプログラムを実施。現在2期目。(1期9名,2期12名*チーム・公募を含む)

今後の取組

[2020~(Phase 2)]

- ・インキュベーションプログラムの運営(3期 2020年5月、4期 2020年11月)
- ・プログラム出身者の起業を支援する「toberuファンド」を立ち上げ(2020年4月~10億円規模)
- ・出身者による複数のスタートアップの立ち上げ(2020年4月~)
- ・プログラムの認知拡大(スポンサー企業獲得)

京都銀行

現状の取組

- ・京銀輝く未来応援ファンド
スタートアップ企業や成長期待企業の支援育成を目的として、京都銀行グループで設立運営。投資後の伴走支援も行き、地域の中核企業への成長をサポート。
- ・京銀・東証イノベーションミーティング
東京証券取引所との共催で、京都発の研究開発系・技術系スタートアップ企業と全国の上場企業経営者・新規事業担当者との出会いの場を提供。
- ・きぎょうサポートオフィス
「京都経済センター」3階に設置している起業や経営相談の窓口。当行行員が常駐し、「京都経済センター」入居団体や当行の本部組織等と連携・協力して各種支援を実施。

今後の取組

- ・起業家育成プログラム(アクセラレーションプログラム)の実施
- ・スタートアップ企業と地域の中小・中堅企業とのマッチング
- ・スタートアップ企業の海外展開支援(北米、中国、東南アジア等)

京都信用金庫

現状の取組

- ・「起業家サロン」の開催
- ・「京信・地域の起業家アワード」の開催
- ・「京信起業家EXPO」の開催
- ・「地域地域クラウド交流会」(宇治市で4回、長岡京市で2回)の開催
- ・投資・ファンド(地元京都の機関、企業とのファンドを通じた連携、支援)
- ・京信創業支援融資制度「ここから、はじまる」

今後の取組

- ・京都信用金庫河原町ビル「Question」の開業
(令和2年10月31日開業予定)
「気づき、集まり、対話」の循環の起点とし、豊かな地域社会の共創を目指す拠点「Question」を新設

京都中央信用金庫

現状の取組

- ・支援機関と連携した創業者向けセミナーの開催
- ・日本政策金融公庫との協調による金融支援
協調融資専用融資「スタートダッシュ・ツイン」を発売。
- ・京都市スタートアップ支援ファンドへの出資・活用を通じた支援
- ・「中信ベンチャー・投資ファンド5号」を通じた支援
- ・中信ビジネスフェアを通じたビジネスマッチング支援

今後の取組

- ・SDGsの観点に立った商品ラインナップの拡充
【現在取扱中のSDGs関連商品】
 - ・中信SDGsサポートローン
 - ・中信SDGsビジネスマッチングローン
 - ・中信SDGs事業承継ローン
- 【ファンドを活用した事業承継のサポート】
 - ・中信ベンチャー・投資ファンド5号

三菱UFJ銀行

現状の取組

- Rise Up Festaの開催(平成29年4月には京都で開催)
- イノベーション×グローバル・マネージメントフォーラムの開催
- Plug and Play Japanの京都進出サポート
- MUFGデジタルアクセラレーターの運営



今後の取組

- 地域企業の支援
- インキュベーター支援

現状の取組

- ・専門相談窓口「創業サポートデスク」の設置
- ・創業セミナーを年4回開催
- ・女性の創業勉強会(年5回シリーズ)を実施し、創業計画策定支援
- ・専門家を無料派遣、創業計画書の精査と起業後3年間モニタリングを実施
- ・創業支援の一定のスキルを持つ職員を養成し、起業相談に対応
- ・女性の創業支援チーム「ことそら」での創業セミナー、勉強会の実施
- ・創業支援融資制度の保証料率を引き下げし、0.5%としている。

今後の取組

- ・成功事例の情報発信
- ・女性経営者による経営支援の実施
- ・ビジネスマッチング支援
- ・海外展開サポート
- ・人材募集のサポート

現状の取組

- ・ベンチャー企業向け融資制度「資本性ローン」をはじめとした創業企業支援
創業融資先数は府内で年間約700企業。
- ・海外進出に挑戦する中小企業の様々な資金ニーズに応需
海外進出先企業向け融資先数は府内で年間約50企業。
- ・次世代のビジネスを担う高校生への早期起業家教育
(高校生向けビジネスプラングランプリ開催)
- ・アーリーステージ向け経営ノウハウセミナー(年間5開催程度)
- ・ベンチャー企業向け投融資相談会(月1回。FVCと共催)

今後の取組

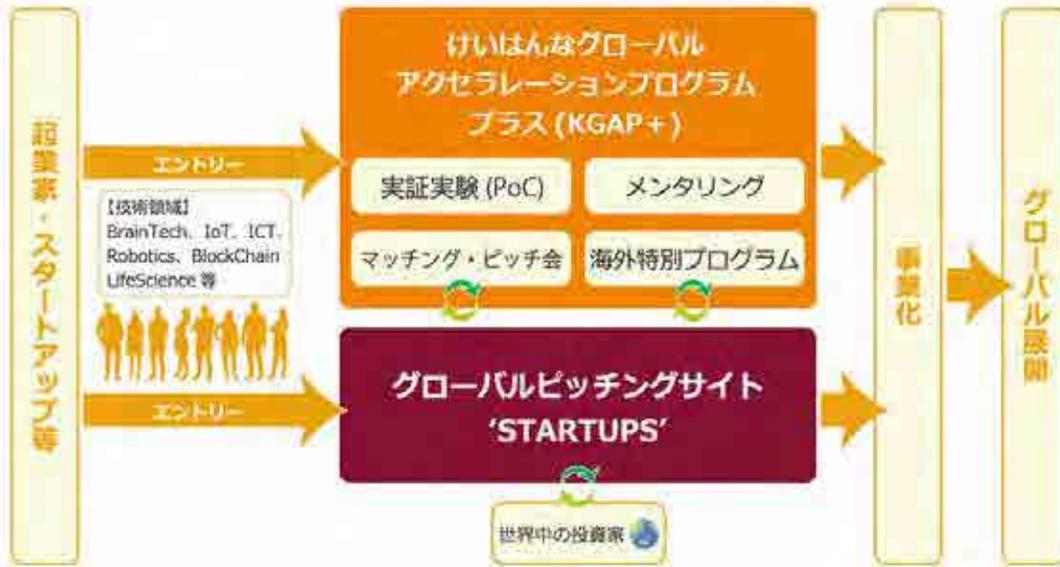
- ・学生向け起業啓蒙イベントの開催
- ・ベンチャーキャピタル及びインキュベーション施設と連携したセミナーの開催

学研都市におけるスタートアップ支援の取組

学研推進機構を中心とした取組

現在

- グローバルアクセラレーションプログラムプラス(KGAP+)やweb上のピッチングサイト(STARTUPS)により、スタートアップ企業の事業化を支援
- 特に優れたスタートアップ企業に対しては、ニューヨークのERAやBarcelona Activaの特別プログラムを実施するなど、グローバル展開を支援



今後

- イノベーションの創出やスタートアップ企業へのハンズオン支援を行う、官民協働プラットフォーム「けいはんなオープンイノベーションハブ」を設置
- KGAP+やSTARTUPSの取組を継続。また、けいはんなの強みである脳科学分野の企業等とスタートアップのマッチング、実証実験、人材交流等を支援

京都スマートシティエキスポの実施

現在

- バルセロナエキスポと連携し、国際的なビジネス交流、自治体交流を通じたマッチングイベントとして2014年から開催
- 2019年はスタートアップ支援に関わる国内外の企業・団体によるシンポジウムやKGAP+のピッチ会を開催



今後

- 2020年は引き続きけいはんなでエキスポを実施するとともに、スタートアップシンポジウムを京都市内で開催
- また、スタートアップ支援がテーマの外務省主催イベント「日本スペインシンポジウム」を誘致。エキスポと連携開催

2025年、大阪・関西万博が開催

- 夢洲での万博開催と同時に、次世代のスマートシティの実践の場として「けいはんな学研都市」の整備を促進
 - IoT・AI・ビッグデータ・脳情報科学、ライフサイエンスなど、世界的な研究拠点
 - 次世代エネルギー実証や完全自動運転の公道走行などの実証実験が可能なるまちづくり
- さらに、世界中のスタートアップが集うグローバルピッチイベントを開催



そして